



第16号

誌名 : 平成武師道
発行元 : 平成武師道活学塾事務局
京都市下京区麩屋町四条下ル八文字町 341
総合打撃道 TEL : 075-361-1199

監修 : 山口 貴史 山下 希哉
編集 : 兵庫 義幸

～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉



あらためて日本史を振り返ると様々な事を発見する。文字にしても漢字という表意文字とひらがな、カタカナという表音文字の2つを使っている。昔は韓国も漢字とハングル文字を使用していたが、今ではハングルだけになってきた。この2つの文字を使用して相手に気持ちや様々な事柄を伝達しているのは日本だけなのだ。やはりこれだけでも凄いと思う。

また、この国は折り紙と言って紙から鶴やカブトを作る事ができる。一枚の紙から様々なものに変化させて楽しめる文化。これも凄いと思う。

日本は島国で物資も資源も少ない国。だからこそ与えられた物をさらに良い物にリメイクできる能力が高い国である。車、テレビ、コンピューターなど。

精神文化でも和や思いやり、礼節など素晴らしい考えが根付いていた。しかし、戦後、日本は敗戦と共に娯楽という素晴らしい遊びを得て、自由という我が儘を覚えた。その代償として他者への気遣いや思いやりを忘れ、己の欲だけのままに生きている輩が増えたのが現状だ。だが、日本の文化はここからが凄い。娯楽の悪影響が生じる短所の部分を長所に変えていったのだ。例えばアニメ。昔は「マンガばかり観て」と親に怒られ良くないものとされていたものが、今では世界中の子供から老人までわかりやすい形で日本人の文化や考えを伝える事ができるようになり、多くの人達から称賛を得ている。

そこで私達の平成武師道もしっかりとした形に早く構築し、いずれアニメや歌、ゲームなどの娯楽を通じて和や思いやり、礼節の心を世界に向けて発進していきたいと思う。やはり日本の文化は凄いと言われ、誇り高いものにしていく事が、何よりも現在の日本人がしていく事ではないだろうか。

やはり行動をして形にしていかなないと、今まで日本の歴史を刻んでいった先人に格好がつかないというもの。今こそ平成の武師よ。歴史に名を刻もうではないか。

佐々木